

1. 事業所の理念

すべては子どもたちのために

2. 事業所の基本方針

- ① 3年で単年度黒字 5年で累積赤字解消
- ② 配慮を要する子ども（家庭）を中心に考えた支援
- ③ 学校・保育所と連携・協働

3. センター評価のねらい

事業運営における具体的な問題点を把握し、サービスの改善及び質の向上を図ることにより、障害児の心身の状況に応じた適切な支援を行い、事業所関係者や保護者等から地域福祉活動その他センター運営に対する理解と参画を得て、地域から信頼されるセンターづくりを進める。

4. 評価の方法

（1）自己評価

事業所の従業員が行い、「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」の様式を用いて実施するものとする。

（2）保護者等評価

事業所を利用する障害児の保護者等が行い、「保護者向け放課後等デイサービス評価表」の様式を用いて実施するものとする。

（3）事業所関係者評価

関係機関、地域住民等により構成された評価委員会が、次に掲げる事項について評価を行うものとする。

- ① 事業所を利用する障害児及びその保護者の意向、障害児の適性、障害の特性その他の事情を踏まえた支援を提供するための体制の整備の状況
- ② 従業員の勤務の体制及び資質の向上のための取組の状況
- ③ 放課後等デイサービスの事業の用に供する設備及び備品等の状況
- ④ 関係機関及び地域との連携、交流等の取組の状況
- ⑤ 事業所を利用する障害児及びその保護者に対する必要な情報の提供、助言その他の援助の実施状況
- ⑥ 緊急時等における対応方法及び非常災害対策
- ⑦ 自己評価及び保護者等評価の結果をふまえた放課後等デイサービスの提供に係る業務の

改善を図るための措置の実施状況

5. 評価の結果

(1) 評価の対象等（令和5年10月1日現在対象）

事業所の従業者9名、保護者等19世帯に対して、「評価表」を用いて実施。（無記名）

従業者	9名	100%
保護者等	22世帯（回収19世帯）	86%

3段階評価「はい」「いいえ」のいずれかに○印。“わからない”“見たこと・聞いたことがない”場合は「どちらともいえない」に○印。

(2) 主な指標

①環境・体制整備

活動スペースや、職員の配置数に関しては、保護者等調査並びに従業者調査ともに、「適切である」との肯定的回答が65%である。

サービス提供をワンフロアの支援スペースで行ってきていたものを、個別対応、活動の切り替え、クールダウン等、子どもの適性を考慮した支援内容に改めていくことを目的とし、令和5年10月より区画化を実施し、支援が適切に行えるよう配慮した。このことで、11月以降、痙攣を起した場合の対応、活動の切り替えのスムーズさが向上している。

保護者の中には、実際の支援の場所を見たことがない世帯も多いため、参観週間の設定や、保護者が子どもの支援環境を見ることができる取り組みを進めていくよう計画している。

②業務改善

2年目を迎え、支援内容の充実に力を入れて取り組んでいる。感染症の影響を受け、地域交流や外出の機会が初年度はなかったが本年度については積極的に取り組むことができた。

③適切な支援の提供

放課後等デイサービス計画に基づく支援計画の内容については、保護者評価、従業者評価とも肯定的回答が69%となっている。活動プログラムについても個別活動と集団活動を組み合わせて行っているが、日々の支援に関しての記録の徹底ができておらず、支援の検証・改善に繋がっていないとの評価結果がある。従業者全員が足並みをそろえて改善に取り組んでいく必要がある。

苦情（意見）への対応について、保護者等調査で半数しか肯定的回答を得られなかった。いただいた意見については、毎朝のミーティングにより情報共有し、対応を協議し適切な対応に努めているが理解を得られていない部分がある。より詳細な説明と保護者との良好な関係性の構築に努めていく必要がある。

④非常時等の対応

マニュアルに基づき、避難訓練を毎月実施し、地震訓練と火災訓練を交互に行っている。

⑤満足度

保護者からは子どもが通所を楽しみにしているとの回答を得た。また保護者から、事業所の支援に満足しているとの回答を得ている。日々の子どもの状況を常に保護者と共有することを継続していきたい。

6. 次年度に向けての展望

自己評価保護者等評価ともに肯定的評価が概ね高い結果となった。

本年度の課題として、強度行動障害判定スコアの数値が高い利用者があり、サービスの提供を休止したケースが2件あった。利用者やスタッフに対する他害行動への対応、保護者の理解について事業所内部で協議判断した結果ではあるが、契約途中での休止となった点については、利用開始当初の判断ができていなかった面もあると考えられる。

当事業所については、強度行動障害に対応したサービス提供体制ではなく、マンツーマン支援は原則できない事業所であることから、利用開始より保護者等の理解を十分求め対応していくように努めていく。

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域との交流活動を始めることができただので、積極的な交流活動に取り組んでいきたい。

個別支援計画に基づいた支援ということを保護者にも十分理解していただき、従業者も計画の内容を今以上に理解し、個別支援に関しても PDCA サイクルの徹底に努めていく。

令和5年度 評価委員会アンケート(保護者向け)

(公開用)

		はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14 (74%)	4 (21%)	1 (5%)	19
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14 (74%)	5 (26%)	0 (0%)	19
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9 (47%)	9 (47%)	1 (5%)	19
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17 (89%)	2 (11%)	0 (0%)	19
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13 (72%)	5 (28%)	0 (0%)	18
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6 (32%)	12 (63%)	1 (5%)	19
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	17
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13 (76%)	4 (24%)	0 (0%)	17
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11 (65%)	5 (29%)	1 (6%)	17
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5 (29%)	6 (35%)	6 (35%)	17
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9 (53%)	8 (47%)	0 (0%)	17
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11 (65%)	5 (29%)	1 (6%)	17
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16 (94%)	1 (6%)	0 (0%)	17
14 個人情報に十分注意しているか	15 (88%)	2 (12%)	0 (0%)	17	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	19
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18 (95%)	1 (5%)	0 (0%)	19
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14 (78%)	2 (11%)	2 (11%)	18
	18 事業所の支援に満足しているか	15 (79%)	4 (21%)	0 (0%)	19

令和5年度 評価委員会アンケート(職員向け)

(公開用)

		はい	どちらともいえない	いいえ	解答数
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5 (56%)	4 (44%)	0 (0%)	9
	2 職員の配置数は適切であるか	5 (56%)	4 (44%)	0 (0%)	9
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1 (11%)	5 (56%)	3 (33%)	9
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4 (44%)	5 (56%)	0 (0%)	9
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5 (56%)	3 (33%)	1 (11%)	9
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5 (56%)	1 (11%)	3 (33%)	9
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4 (44%)	3 (33%)	2 (22%)	9
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	9
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	9
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2 (22%)	5 (56%)	2 (22%)	9
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8 (89%)	1 (11%)	0 (0%)	9
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7 (78%)	2 (22%)	0 (0%)	9
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7 (78%)	2 (22%)	0 (0%)	9
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6 (67%)	3 (33%)	0 (0%)	9
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8 (89%)	1 (11%)	0 (0%)	9
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6 (67%)	3 (33%)	0 (0%)	9
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3 (33%)	6 (67%)	0 (0%)	9
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7 (78%)	2 (22%)	0 (0%)	9
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8 (89%)	1 (11%)	0 (0%)	9
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6 (67%)	3 (33%)	0 (0%)	9	
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7 (78%)	2 (22%)	0 (0%)	9	
22 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2 (22%)	1 (11%)	6 (67%)	9	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1 (11%)	2 (22%)	6 (67%)	9
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0 (0%)	4 (44%)	5 (56%)	9
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1 (11%)	4 (44%)	4 (44%)	9
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3 (33%)	4 (44%)	2 (22%)	9
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3 (33%)	6 (67%)	0 (0%)	9
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6 (67%)	3 (33%)	0 (0%)	9
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1 (11%)	2 (22%)	6 (67%)	9
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7 (78%)	2 (22%)	0 (0%)	9
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7 (78%)	2 (22%)	0 (0%)	9
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0 (0%)	6 (67%)	3 (33%)	9
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7 (78%)	1 (11%)	1 (11%)	9
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	9
	35	個人情報に十分注意しているか	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	9
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7 (78%)	2 (22%)	0 (0%)	9
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5 (56%)	3 (33%)	1 (11%)	9	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3 (33%)	4 (44%)	2 (22%)	9
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	9
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	9
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3 (33%)	4 (44%)	2 (22%)	9
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3 (33%)	4 (44%)	2 (22%)	9
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	9